



なっとくんの

# なるほどなっとくニュース



Community Museum「地域の宝・学校の宝」学校を中心とした地域の教育的環境の活用をめざして

※なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。↑



## しぜんさいがいでんしょうひ ちずきごう 自然災害伝承碑の地図記号

むかし ひと さいがい お とき じょうきょう きょうくん せきひ  
昔の人は、災害が起こった時の状況や教訓などを石碑に  
きざり こうせい つた のこ せきひ しぜんさいがい  
刻み、後世へと伝え残してきました。こうした石碑は自然災害  
でんしょうひ よ みぎ ず しぜんさいがいでんしょうひ  
伝承碑と呼ばれています。右の図のような自然災害伝承碑  
の地図記号が、2019年に新しく制定されました。



出典：国土地理院ウェブサイト



うべし すおうなだたいふう ねん がつ  
宇部市には、周防灘台風(1942年8月)  
しぜんさいがいでんしょうひ きんねん たいふう  
の自然災害伝承碑があります。近年も台風  
などによる水害が発生しています。

まんちょうじ たかしお かさ たいふう ちよくげき へいや うみ  
満潮時の高潮と重なって台風が直撃し、平野は海の  
ようになりました。当時の被災者の苦難と全国からの  
しえん かんしゃ つた  
支援への感謝を伝えています。

こうとうがわ ていぼう  
厚東川の堤防が  
けっかい おお ひがい  
決壊し、大きな被害  
がでました。この碑  
は、堤防が決壊し  
あと た た  
た跡に建てられて  
います。

←「2.3mの  
たか 高さまで浸水  
した」という  
ひょうじ 表示には驚き  
です。

1999年の台風18号では、  
たいふう せつきん おおしお まんちょう かさ  
台風の接近に大潮、満潮が重な  
り、瀬戸内海沿岸で高潮による  
おお ひがい しょう  
大きな被害が生じました。  
やまくちう べくこう かんすい  
山口宇部空港も冠水しました。

「天災は忘れたころにやってくる。」と言います。自然  
さいがい  
災害伝承碑とその地図記号を、さいがい とお むかし  
災害を遠い昔のこと、  
たにん おも みらい  
他人のことだと思わず、「未来のこと」「自分のこと」と  
してとらえる一つのきっかけとして活用したいものです。

出典：国土地理院ウェブサイト

1923年9月1日、神奈川県西部を震源とするマグニチュード  
7.9の地震では、発生が昼食の時間と重なったことから、多くの  
火災が起きて被害が拡大しました。  
今年で発生から100年を迎える、この地震によって生じた災害  
は、何と呼ばれているのでしょうか？

A 関東大震災

